

自動化された意思

黄色味を帯びた過去の時間が
いや、過去という概念そのものが
消滅しようとしている

私がいつどのようにして生まれたか
何を体験してきたのか——
記録されることはなく、その必要もない

次々に引き剥がされてゆく五感
空洞化した生の頂点で蠢く意思
自動化された意思——

あらゆる現象は意思にとって無意味であり
外部化された分析によってデータ化され
意思の存続のために処理される

(肉体的快楽など無意味であり
それは単なる脳の快楽でしかない)

仮に意思のみが連続していればよいのであれば
連続する生そのものは不必要となる
生殖は言うまでもなく——

新たなる戦略が浸透しつつある
生命の進化を不要とする戦略——
生命を飼い馴らすという戦略が・・・

(意思という現在など既に存在しない
時間と分離された細胞運動があるだけだ)

(2014.5.18)